

サステナビリティ（持続可能性）

貴重な極域の環境を守るために

私たちは皆、極地に滞在するゲストです。つまり、この素晴らしい地域を私たちの通過によってできる限り手つかずにしておくために、できる限りのことをしなければならないのです。ここでは、そのための方法をいくつかご紹介します。

極地に対する意識を高める

1983年、オランダのフローニンゲン大学北極圏センターは、ノルウェー領スヴァールバル諸島最大のスピッツベルゲン島への調査プログラムを開始しました。この探検に乗り出した科学者たちとともに、宿泊費を払って研究の財政支援に貢献したのが観光客たちでした。この研究プログラムは、後にブランスウス財団として知られるようになり、スヴァールバル諸島への年次探検航海を企画した最初の事業者となりました。

オーシャン・エクスペディションズは、1993年に設立されると、これらの航海を継続しました。

AECOとIAATOの最初のメンバーの一人として、当社は安全で環境に優しい極地旅行のためのすべてのガイドラインに従うだけでなく、これらのガイドラインの作成に深く関わり、これらの組織で会員と指導者の両方の地位を維持しています。当社の最高執行責任者はAECOの執行委員会のメンバーであり、当社の経営陣はAECOのガイドライン委員会とIAATOのフィールドオペレーション委員会に所属しています。

船舶のリニューアル

サステナビリティの目標の中で最も重要なのは、船舶の影響と排出を積極的に削減し、新しい技術に投資し、既存の資源を継続的に改善することです。

当社の新造船、ホンディウスとヤンソニウスは、最新のグリーンテクノロジーだけを採用するようから設計されています。LED照明、蒸気暖房、生分解性塗料と潤滑油、可変ピッチプロペラ、ディーゼル発電機の代わりに軸発電機、窒素酸化物を削減するTier IIIエンジン、真水の生産に再利用できる廃熱、燃料消費と二酸化炭素の排出を低く抑える柔軟な電力管理システムなどが採用されています。

具体的には、これらの効率的な新エンジンにより、乗客1人あたりの平均燃料消費量を35%以上削減し、ホンディウスとヤンソニアスは極地で最も環境に配慮した船舶のひとつとなっているのです。

しかし、技術的に進んだ新造船とは別に、ベテラン船であるオルテリウス号にも2台の新しい低排出ガスエンジンを搭載しました。

また、硫黄含有量が0.1%以下の低硫黄軽油（LSMGO）を使用することも、サステナビリティに対する私たちの重要な取り組みのひとつです。また、伝統的な帆船であるレンブラント・ファン・レインでは、もちろん可能な限り風力発電を利用しています。

廃棄物の削減と除去

船内でのゴミの発生を抑えるため、できる限りリサイクルを行うとともに、使い捨てのプラスチック製品の使用を禁止しています。ストロー、プラスチックカップ、個包装されたバター、ヨーグルト、ジャムなどの使用は禁止しています。

私たちの船はすべて、水処理システムと逆浸透膜を利用した淡水化システムを備えており、船内でペットボトル入りの水を使用することを排除することができます。船内ではペットボトルの水を使用せず、お客様には再利用可能な水筒をお渡しし、船内で詰め替えていただいています。また、バスルームには生分解性のシャンプーや石鹸をリサイクルパックで用意し、プラスチックの使用をさらに制限しています。

私たちは、船から発生する廃棄物を減らすだけでなく、運航地域にすでに蓄積されている廃棄物も除去しています。北極圏のゴミの大半は海岸に流れ着き、動物の餌場を汚染しています。そのため、私たちはスヴァールバル諸島の知事が主催する廃棄物除去活動「Clean Up Svalbard / スヴァールバル諸島のクリーンアップ」に長年参加しています。このプログラムは非常に効果的です。

例えば 2018 年、オーシャンワイド社と AECO の仲間たちは 128 のビーチクリーンを率い、40 トン以上のごみを撤去しました。これらの清掃グループは、主にエクスペディション・クルーズのゲストで構成され、自分たちが好きになった環境を助けるためにボランティア活動を行っています。

地元を応援し、緑を守る

可能な限り現地で製品を購入することは、輸送の影響を軽減すると同時に、地域社会をサポートするための私たちの方法です。極地の遠隔地では難しいことですが、長年にわたり、信頼できる持続可能なサプライヤーとの強い関係を築いてきました。

また、海洋管理協議会の認証により、持続可能な水産物を保証する MSC 認証の魚介類を提供し、船内の清掃用品はすべて植物由来で 100% 生分解可能なものを使用しています。

また、船内で提供されるコーヒーは、人と環境に配慮して責任を持って生産された UTZ 認証のオーガニック・フェアトレード豆を使用しています。

野生動物の保護

極地を訪れる大きな理由のひとつは、エキゾチックな動物たちです。そして、自然のままの野生動物を観察することは、とても貴重なことです。私たちは、AECO と IAATO の野生動物に関するガイドラインを忠実に守り、これらの魅力的な生き物に迷惑をかけないように、情熱を持って取り組んでいます。

科学者の支援

科学は、私たちのルーツであるプランシウス財団に始まるオーシャンワイド社の文化と歴史の中心的な部分を占めています。しかし、極域の環境に対する理解を深めるためにも、科学は不可欠なものです。

そこで、以下のようなプロジェクトに協力させていただいております。

Wageningen University & Research との共同プロジェクト「Arctic Litter Project／北極のごみプロジェクト」の一環として、Wouter Jan Strietman などの科学者がプラスチックやマイクロプラスチックを監視するのを助け、北極のゴミを記録・分析します。

現在の北極や南極の研究に直接貢献する市民科学プロジェクトに参加する機会をお客様に提供します。

北極圏の外来種を研究している Martine Van den Heuvel-Greve さんを、私たちの船「**プランシウス**」に招待し、研究を促進すること。

気候変動が海洋に与える影響を解明するために、水温、塩分、気圧を測定する ARGO フロートなどの科学機器を提供。

氷床コア、気象変動、CO2 濃度を研究する研究者を船に乗せ、気候変動とその影響に関する知識を深め、その破壊的な影響を抑制する（あるいは逆転させる）方法を研究しています。

このような科学者をレクチャーガイドとして採用することで、彼らの重要かつ魅力的な研究をお客様にお伝えすることができます。

ポジティブな極地体験の提供

私たちは、極地の教育や支援活動が長期的に有益であるという揺るぎない信念を持っており、これを達成するためには、積極的な実体験に勝るものはないと考えています。

極地への上陸、没入型の野外活動、野生動物との触れ合い、そして船上での補足的なプレゼンテーションを組み合わせることで、私たちが極地で目撃する驚くべき現象についての洞察をお客様に提供できるよう心がけています。

このような取り組みにより、お客様に極地の素晴らしさを知っていただくと同時に、極地の大自然に感動していただくことができます。

誰も体験していないのに、どうして熱心に保存しようとするのでしょうか。

私たちの究極の目標は、極地の美しさを世界に伝えると同時に、極地を保護する探検産業を創出し、それに貢献することです。なぜなら、これらの地域は共有するにはあまりに素晴らしいが、保護するにはあまりに貴重だからです。